

< アメリカの再生 (American renewal) とオバマの再選 >

①オバマの再選が可能になった場合の一番の勝因は、過去3年半の大統領の職を大過なく務めることができたという実績だけだと某政治評論家の辛口の評がありました。州と連邦議会上院議員しか経験したことのないオバマが、大統領の仕事ができることが証明され、その成果には疑問が多々ありますが、この実績によって、彼が再選されて第2期を務めても大きな心配をする必要がないということになります。彼に一番貢献したのは、日本と同様、米国の制度機構 (institution) がしっかりしているので、政治家が多少デキが悪くとも、官僚を中心とする機能が work している限り、国事はまともに動いているとのこと。②オバマは医療制度改革やグリーン経済や社会福祉型経済政策などで “change” を目指しそれを実行に移しつつありますが、米国社会の将来にとって真の “American renewal” になるかどうかはこれからの問題です。大方の国民が重税と社会保険の負担の重さに苦しんでいる現在、一般庶民と全くかけ離れた生活をしている超金持ちの共和党大統領候補者ロムニー (酒/たばこ/紅茶/コ-ヒ-を飲まず、肉/魚類を食べない stoic なモルモン教徒) を大統領に選ぶほど、米国社会の現実は甘くはありません。

< ニューヨーク市の家賃過去最高に！ >

ニューヨーク市 (NYC) の賃貸高層住居ビル市場が今年第一四半期で過去最高を記録したと市内の大手不動産会社各社が発表しました。リーマンショック前の一月平均家賃3,394ドルより24ドルプラスの3,418ドルになったとのこと。何故 NYC の高級 APT だけこんなに上昇するのか疑問ですが、原因としては①世界からの逃避の資金と人が NYC に流れ込んでいる。②住宅ローンの利息が歴史的な低さ (30年で3%台) にあるのもかかわらず、銀行の貸し渋りで、購入できず賃貸物件に落ち着いているのが現状なのかもしれません。それにしても年間7~10%の家賃上昇は生活に直撃し、消費を下降させることとなります。デフレ社会にはなりそうにもありません。何時も購入しているパンも遂に6ドル50セント (4年前は5ドル) となりました。